

兵庫県加古郡稲美町

基本情報

- 気候 瀬戸内、温暖
- 土質 壤土
- 従事人数 5人
- 臨時雇用 20人

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	10ha	30a
麦類	30ha	—
大豆	2ha	—
キャベツ	1.3ha	—

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 地域活性と環境保全をめざして ～「未来に希望が持てる集落農業をめざす」～
- 地域の組織経営体、担い手として集積する農地を有効に管理し、大麦を主体に水稻、キャベツ経営に取組

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料
11月に緑肥作物のヘアリーベッチを播種し、翌年の水稻栽培前に刈り払い、すき込みを行うことで、肥料費を大幅に削減(留意点)水稻植え付け後、ヘアリーベッチ分解時の発生ガスにより分けつが抑制される場合があり、植え付け株数は50株/坪以上必要
- 農薬
県慣行レベルを半減し、エコファーマー認定を取得し、環境保全型農業直接支援対策を利用
- 農業機械
大麦の収穫後の麦稈処理や雑草処理に利用するオフセットモアをヘアリーベッチの刈り払いに有効利用し、機械コストを低減

導入効果

- 施肥
肥料費▲約3～4割
- 防除
農薬費▲約5割
労働時間▲約5割
(慣行との比較)
- その他
ヘアリーベッチ栽培により、冬から春にかけての耕耘除草作業が省略可能

支援体制

- 普及センターがコスト低減技術として紹介し、あわせて技術指導、支援を実施
- 東播磨ヘアリーベッチ米推進会議(事務局:加古川普及センター、構成:管内市町、3JA)が主体となり、「ヘアリーベッチ米の匠育成」による技術習得支援

課題・今後の目標

- 適切な水管理と茎数管理による収量安定



刈り取り前のヘアリーベッチ及び刈り払い